

2019年8月9日

各 位

会社名 株式会社 安江工務店
 代表者名 代表取締役社長 山本賢治
 (コード番号：1439 東証JASDAQ・名証第二部)
 問合せ先 取締役常務執行役員 印田昭彦
 (TEL 052-223-1100)

2019年12月期 第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2019年2月12日に公表いたしました2019年12月期の第2四半期累計期間（2019年1月1日～2019年6月30日）の連結業績予想と実績の差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異（2019年1月1日～2019年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,293	56	55	31	24.53
実績（B）	2,347	32	31	12	9.60
増減額（B－A）	54	△23	△24	△19	—
増減率（％）	2.4	△42.8	△43.4	△61.0	—
（ご参考）前第2四半期実績 （2018年12月期第2四半期）	1,958	4	4	△5	△4.45

2. 差異の理由

（1）第2四半期累計期間

当第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、期中における受注状況が堅調であったため、概ね前回発表予想の通りに推移いたしました。

一方、利益面につきましては、各セグメントにおいて現場管理体制の見直しによって原価率は改善したものの、生産性向上のための人材育成に係る教育訓練費や、中長期の成長に向けた人材確保のための採用コストが増加し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想を下回る結果となりました。

（2）通期

通期につきましては、住宅リフォーム事業及び新築住宅事業の受注残は堅調に推移しており、期中に完工引渡しが進む見通しであります。また、原価の低減や業務効率の向上による経費削減も、引き続き行ってまいります。

以上の状況を踏まえ、現時点における通期業績予想に関しましては、2019年2月12日に公表した内容から変更はございません。

今後、現時点では予想不能な事態の発生により、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

(ご参考) 2019年12月期第2四半期累計期間個別業績予想と実績の差異 (2019年1月1日~2019年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,928	百万円 59	百万円 39	円 銭 30.70
実績 (B)	1,899	46	28	21.80
増減額 (B - A)	△29	△13	△11	—
増減率 (%)	△1.5	△23.2	△29.2	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	1,829	29	18	14.31

以 上